



全国学力・学習状況調査結果(算数・数学)を受けての取組を紹介をします。10月以降の取組に生かしていきましょう。

【算数】 児童が問題を発見し、既習内容と関連付け、意味や根拠を考えることに課題がある。

課題①「児童が問題を発見し、既習内容と関連付ける」ことに課題がある。

方策

- 問題を発見できるようにするためには
児童が数学的な見方・考え方を働かせながら問題を観察する場を設け、まずは解けないこと(新しい問題)に気づくようにすることが大切です。
教師の問いかけ「**何に困っているのですか?**」
- 既習内容と関連付けることができるようにするためには
どうしたらよいかを問うことにより、児童が自分で既習内容を振り返ったり、「～ならできるようにな」と既習内容と関連付けたりすることができます。
教師の問いかけ「**どうしたらいいですか?**」



「たし算ならできるようにな」「長方形ならできるようにな」



☆教師が安易にめあてや関連する既習内容を与えてしまわないようにしましょう。

課題②「児童が意味や根拠を考えること」に課題がある。

方策

- 意味や根拠を考えられるようにするためには
どうしてそのように考えたのかを問うことにより、数学的な見方・考え方を顕在化することが大切です。また、本当かどうかを問うことで、児童が根拠を説明しようとする場が設けられます。



教師の問いかけ「**どうしてそうしようと思ったの?**」

教師の問いかけ「**本当ですか?」「偶然じゃないの?**」



- 全員が説明できるようにするためには
ペアや小グループで説明し合うとき、説明するだけでなく、質問し合うことが大切です。

「**なんでそうなるの?**」



☆教師が説明ばかりすると、児童が思考・判断・表現する場がなくなります。あえて問い返しましょう。

【数学】 証明問題や記述式の問題を考えると、構想を立て、それに基づいて仮定から結論を導く過程を、数学的に表現することに課題がある。

証明問題への取組

①

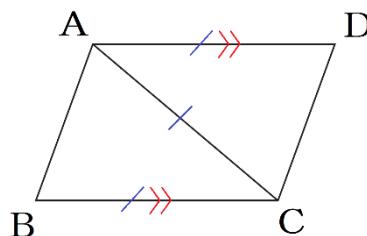
- 問題文をしっかりと読み取り、**わかることを図に記入する!**

②

- 仮定と結論、①の図をもとに**構想を立てる!**

③

- 自らが説明できる**ような証明を記述する!!



ICTの活用

電子黒板

コンテ
ンツ

タブ
レット



授業実践の流れ

①

- 新たな課題に**挑戦する!**

②

- 既習の知識・技能を活用**して、再度①の課題に挑戦する!!

③

- 自分たちの力で課題解決する**ことで、新たな知識・技能を習得!!!

生徒にとって、教師が準備したものに取り組んでいるという意識ではなく、**生徒自らが考え、解決したかのような授業づくりが大切です!!!**